



記載例

職歴に関する申立書

令和2年4月1日

神奈川県教育委員会 様

私の職歴は下記のとおり相違ないことを申し立てます。

氏名	神奈川 学太郎		印
生年月日	昭和54年9月1日		
(教員、栄養職員の場合) 大学卒業年月 (事務の場合) 高校卒業年月	年	月	
	2002	3	

年度	年度を通じて 常勤	年度を通じて 在家庭	その他
平成14年度～平成20年度	○		
平成21年度		○	
平成22年度～平成23年度	○		
平成24年度			○
平成25年度～平成30年度	○		
令和元年度			○

(例：次のような職歴の場合)

H14. 4～H21. 3	正規職員（民間）	}	常勤として勤務した期間があっても年度を通じていなければ、その年度は「その他」
H21. 4～H22. 3	無職		
H22. 4～H24. 9	公立学校臨時任用教諭	}	年度途中で任用が切れても、非常勤講師として勤務していれば、その年度は「その他」
H24. 10～H24. 12	無職		
H25. 1～H31. 3	公立学校臨時的任用教諭		
H31. 4～R1. 7	公立学校非常勤講師		
R1. 8～R1. 12	無職		
R2. 1～R2. 3	公立学校非常勤講師		

- 注) 高校又は大学卒業の次の年度から、年度ごとに該当する職歴等の欄に「○」をつけてください。
- 注) 官民や勤務時間数にかかわらず、年度を通じて正規職員（臨時的任用職員を含む）であれば「常勤」に該当します。また、その月に1日でも常勤の勤務があれば、その月は「常勤」となります。  
年度を通じて無職（浪人（予備校含む）及び留年含む）の場合は「在家庭」に該当します。それ以外の場合は任用形態や任由期間にかかわらず「その他」に該当します。
- 注) 教員、栄養職員の場合、大学卒業後、修士課程であれば2年を、博士課程であれば3年を限度として「常勤」として取り扱います。  
事務の場合、高校卒業後、専門学校であれば2年を、学士課程であれば4年を、修士課程であれば2年を、博士課程であれば3年を限度として「常勤」として取り扱います。
- 注) 事実と異なる記載があった場合、任用当初に遡って報酬額を修正し、差額を精算していただく可能性があります。
- 注) 雇用形態が不明な場合等、事実と異なる可能性がある場合、勤務先に確認してください。